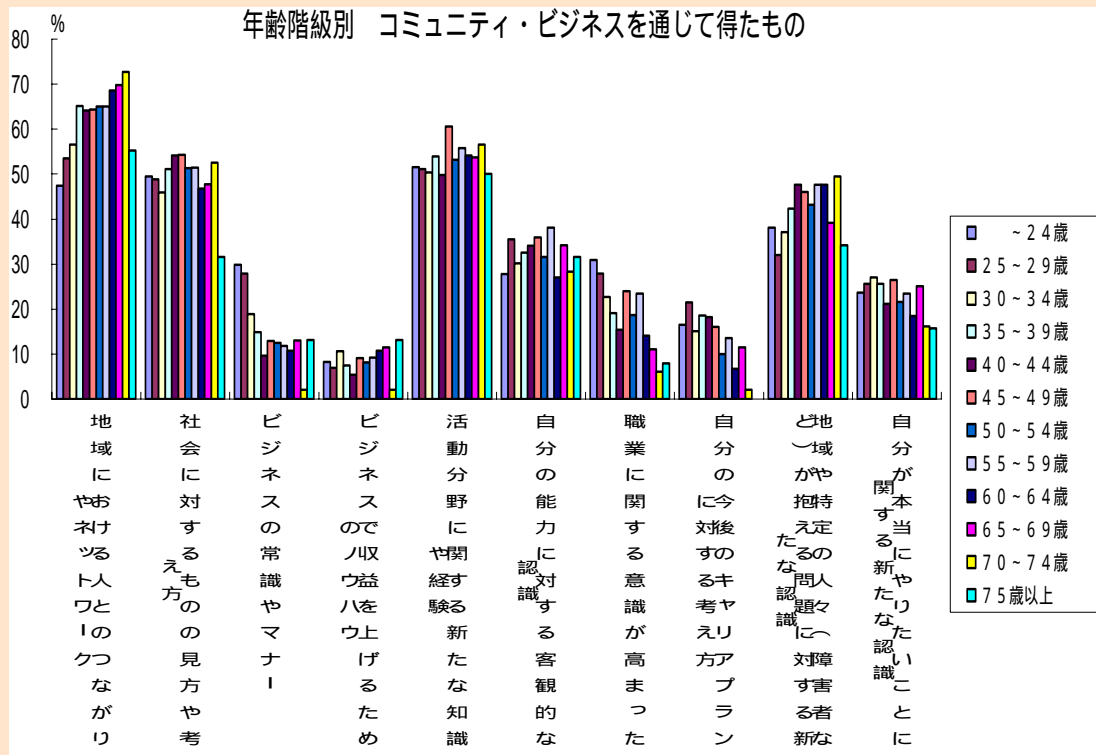


コラム

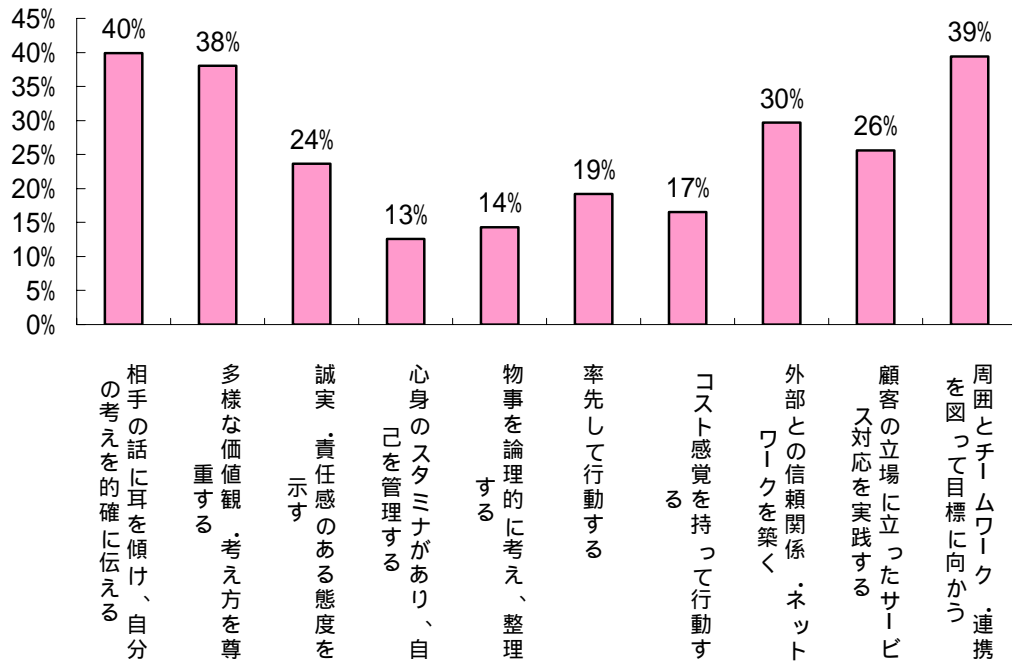
C Bへの参加を通じた新たな地域の結びつき (C B調査結果から)

C B調査によってC Bの活動を通じて個人が得たものをみると、「地域における人とのつながりやネットワーク」が最も多くの割合を占めています。就労や社会参加の大きな動機として、人との付き合いを広めることがあげられますが、C Bはその舞台にふさわしいということができます。



また、同調査により、C Bの活動を通じて個人がどのようなコンピテンシー（知識、技能・技術を実際に活かす能力）が得られたかについてみると、「相手の話に耳を傾け、自分の考えを的確に伝えること」「周囲とチームワーク・連携を図って目標に向かうこと」「多様な価値観・考え方を尊重すること」が多くなっています。C Bにおける活動経験は、他者に共感する能力を育むことがうかがえます。

事業で培われるコンピテンシー



人と人との結びつきがいろいろな面で薄くなっている今日、他者に対する「思いやり」を育むことは、以前に比べ難しくなっています。しかしながら、ポスト工業社会を迎えている中で、画一的ではなく個性豊かに生きたいと願う人々は増えており、彼らが望む社会を形成していくためには、「思いやり」といった共感能力を高めていくことが不可欠ではないかと考えられます。

C Bが健全に発展し、若年者など多くの人々がそこで活動することによって、共感能力が醸成されていくことが期待されます。